

## 北海道恵庭市の大樹さん

特別住民番号475

ぼくの名前は、お父さんとお母さんが考えてくれました。  
まず、お父さんが自分の名前から一字を取り、名字と名前の見た目のバランスのとれた名前にしてくれました。  
読み方は、お母さんが「たいき」と選んでくれました。  
大きいという字は、人をおおらかにし、やさしく人を包み込んでくれそうだからお母さんは好きと言ってくれます。  
ぼくも、お父さんとお母さんが考えてくれた名前が大好きです。



## 北海道弟子屈町の大樹さん

特別住民番号481

我家の大樹は、4人兄弟の末っ子として誕生しました。兄2人姉1人の次に誕生し、一番小さいが大きく育ててほしいと思っておりました。当時小学生向けの愛読書の中に、「育て、平和を築く大樹に！」とありました。心の大きな子に、平和のために役立つ人間に育ててほしいと願い「大樹」と命名しました。(父)



## 岐阜県大野郡の大樹さん

特別住民番号482

私達の次男の大樹は、体重3,960gという大きい子で生まれて来ました。看護婦さん達からも「最近こんな大きな赤ちゃんは、珍しいわね」などといわれ、確かに他の子に比べ大きな子でした。  
子供の名前を決める時、やっぱり大きな子で、生まれたのだから大木のごとく大きく育ててほしいということで大きな樹、大樹と名付けました。  
父である私は、調理を仕事としておりました、いくらなども数多く使っております。ある日いくらを箱を、見ましたら北海道 大樹という名が、あるのを見まして「あー、こんな町が、世の中にあるんだなー」と思っていましたら、先の大樹という名前の子供募集の話が入って来たときに、「あのいくら町の、かな？」とか思っているとそのとおりで、ありませんか。本当に、びっくりしました。  
北海道という所は、やはり私達には遠い所ですが、いつか大樹が大きくなりましたら、一度はおじゃましたいです。その時は、よろしく御願います。(父)



## 東京都八王子市の大樹さん

特別住民番号486

今年、5才になった大樹の名前は、お父さんが考えてつけました。  
お母さんが、花をそだてる事が好きだった事と、  
5月の新緑の美しい時期に生まれた事と、  
まっすぐ、のびのびと大きく育ててほしいという願いをこめて、  
この名前をつけました。  
そして、普通に読ませたくなかったので、  
「ひろき」としました。



## 埼玉県川越市の大樹さん

特別住民番号487

僕の名前は、亡き父が付けたようであるが、それがどのような理由かは聞いた覚えがあるようなないような判然としない。しかし、時代的にみると戦後の復興の緒についたばかりの昭和21年生まれであることを考えると、新たな時代に大きく育ててほしいという願いが込められていたのではないかと想像する。



僕は、大樹という名前が気に入っている。よくい名前だといわれたが、読み方については「たいき」「たいじゅ」と読まれ、なかなか「だいき」とは読んでもらえなかった。その理由は「大器晩成」とか「寄らば大樹の陰」といったことわざの読み方にあった。その結果、ことわざの意味どおり「将来が楽しみだね」といわれ、気分をよくした記憶がある。もしかして父は、このことわざに因んで付けたかもしれない。しかし、その将来に当たる現在、大成もせず、日々凡々として相当に乖離した現実となっているが…。このようなこともあった。ある先輩から岡崎の大樹寺を知っているかと聞かれた。徳川家康の祖先の寺だと答えると、改めて「大樹はいい名前だ。将軍という意味があるが誰が付けたか」と問われ、「父です」と答えると、先輩は「お父さんはよくこの名前をつけたね。感謝しなければいけないよ」といわれた。こそばゆい気がしたことを覚えている。

山歩きが好きな僕は、いつの頃からか高さより登る道すがら周りの自然との対話に充実感を見出すようになっていた。分け入る山道の先に真っ直ぐ伸びる木々の佇まいをみるだけでも満足である。車で40分のところに全国でも十数番目に高いというクスがそびえ立っている。樹齢千年を越すこのクスの樹を見上げるたびにその威厳さ、微動だにしない盤石の姿勢に感動を覚える。生き方、器とは何かを考えると我が身もこのように在りたいと見上げるたびに思う。これも名前が大樹故の自己総括であり、別の名前だったなら果たしてここまで自然＝樹木に対して関心を持ったか疑問である。それだけに父からもらった「大樹」には感謝している。

## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号497

我が家の「大樹」という名前は、決めるまで、ものすごく大変でした。一生の名前なので、良い名前を付けてあげたくて、本を買い、何度も見ました。私達は、いくつもの名前を考えました。でも、夫が「樹」という字をどうしても付けたい。という事でまたいちから考え直し…。



やっとの思いで、「大樹」と名付けました。ただ二人ともありきたりの呼び名には、したくなかったので「タイジュ」と命名しました。

名前のおおりに、大樹の様に、たくましく、心が広く、色々な事からも立ち向かう、勇気のある子に育ててほしいという願がこもっています。

今は、まだまだいたずらばかりの毎日ですが、どんな事があっても決してあきらめる事なく、自分の道を歩んでほしいと思います。(父)

## 千葉県柏市の大樹さん

特別住民番号508

前略 読売新聞に掲載されておりました「大樹町特別町民」募集に応募させていただきます。大樹町の名前は、子供の頃から日本地図で知っていましたが、未だ訪れたことはありません。しかし、いつか必ず行きたいと思っています。

私の名前は、両親が「寄らば大樹の元へ」との故事のようになってほしいとの想いから名付けたようです。今でこそ、かなり一般的な名前になってきましたが、昭和29年生まれの私の子供の頃は、かなりめずらしい名前であり、子供の頃は一度として「タイキ」と初めから呼ばれたことは無く、ほとんどがタイジュ、ヒロキ、ダイキ等であり、なんで、こんな変わった名前を付けられたのかと思ったこともありましたが、今では、とても良い名前だと思っています。



## 埼玉県和光市の大樹さん

特別住民番号511

平成10年6月14日午後4時50分に生まれ、生まれたその時から二男の名前を色々と考え、翌日の朝になってもなかなか考えがまとまらないまま主人が面会に来てしまった。とにかく早く名前と呼んであげたいので主人と二人で、一時間ほど話していた。私は、ふと、前日の14日は、JRAの競馬、安田記念があった事を思い出し、何という名の競走馬が一着になったのか主人に聞いてみた所、「タイキブリザード」という馬でした。ふざけ半分に、「タイキはどうかあ…一着になった馬の名前をもらって。お兄ちゃん(当時3歳)も、おぼえやすく、呼びやすいし、いいと思わない?」と聞いた所、OK。じゃあ漢字はどうするか…と、なって、いくつかの中から、大樹と名付けた。かんたんに名付けてしまったが、優しく、心の広い人間になって欲しいし、いつも一番を目指し、後ろをふりむかず、前へ前進の精神をもって生きて欲しい。という意味もある。大樹が大人になった時に命名エピソードを聞いたら怒られるかもしれないですね。親としては、いい名前だと思うのですが…(笑)(父)



## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号520

昭和48年10月5日午後2時48分、札幌医大附属病院産科において、帝王切開により体重2,370gの低体重児、小さな、小さな、男の子が誕生しました。未熟児と同じく、別室にて24時間監視・看護のもと、小さいながら一生懸命頑張っていました。

そんな我が子と対面できたのは、やっとベッドから離れ歩く事が出来るようになった5日目でした。ガラス越しに見た赤ちゃんは、小さな手足を元気に動かしていました。一日も早く、親子揃って退院したい、元気に育てほしい、そんな親の願いをこめて「大樹」と名付けました。真っ直ぐ、素直な心を持ち、大きく元気な男の子であってほしい…。親の願いどおり、大きく成長してくれました。

2~3歳ごろまでは、よく風邪をひく子供でしたが、今では身長178センチ、体重59キロと、我が家で一番大きく成長しました。

可愛い彼女も出来て、近い将来、親もとを離れ、巣立ちの時を迎える事でしょう。大きく育った息子に、幸多かれと願っている、今日この頃です。(母より)



## 北海道帯広市の大樹さん

特別住民番号521

「大樹」国語辞典でこの言葉の意味を調べてみると大きな木、大木とだけある。確かに読んで字のごとく単純な意味の言葉なのだろうが人の名前でありましてや自分の子供の名前なのだからもっと格調高く、深い説明があって欲しいものである。しかし、考えてみると命名したときには確かにこれといって特別な理由があって名付けたわけでもなかったのが今頃になって文句を付けるのはお門違いというものかもしれない。

長男が生まれた時は体重が2,700グラムの小さな赤ん坊だったので、ただ単純に大きく育て欲しい気持ちから名前には「大」の字を付けようと決め、それではと姓名判断の本を買い込み研究し、果ては易者の先生に相談したものの今一つしっくりこない名前ばかりであった。何か自分達の子供らしく親しみの湧く名前をとあれこれ考えているうちに(今では本当に思い出す事も出来ないのだけれども)突然、「大樹」という文字が浮かんで来てこれだ、これに決まり。しかも読み方は「だいじゅ」、「だいき」、「ひろき」ではなく大樹町と同じ「たいき」に決定。



以上が10年前我が家の長男「大樹」に名前を付けた時の本当の経緯なのだが、本人には「大樹」とは大自然の中、悠然とそびえる大きな木で長い年月を雨や風に耐えながら逞しく生きている木なのだ。そして「たいき」という読み方は大樹町は将来スペースシャトルの基地ができ、宇宙へ繋がる大きな可能性を持っている町なのだ。お父さんとお母さんはそんな気持ちを込めて君に「大樹」と名付けたのだ、だから他人に君の名前の由来はと聞かれたら胸を張って、北海道の大樹町と同じ「大樹」で意味はこうこうですと答えるのだと言い聞かせてある。

後からのこじつけではあるが、今ではかなりもっともらしく気に入った命名の由来である。

ちなみに、長男はのんびり屋でマイペースその意味では親の願い通りに成長してきているのかもしれない。(父)

---